



芳賀町 議会だより

No.136

平成23年5月26日発行



〈鯉のぼり〉役場駐車場前

3月議会定例会

3月定例会の概要(予算)	2~5
(条例制定・改正 ほか)	5~6
平成22年度補正予算	6
臨時議会 ほか	7
常任委員会予算審査結果	8
一般質問	9~12
聲くこえ>私のいいたいこと	13
議会日誌・芳賀町議員会懇談会・編集室	14

□編集／芳賀町議会広報常任委員会

□発行／芳賀町議会
〒321-3392栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020
電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057
<http://www.town.haga.tochigi.jp/gikai/index.html>



平成23年第2回芳賀町議会定例会

3月定例会の概要

平成23年度当初予算総額108億9,400万円を可決

平成23年第2回議会定例会は、3月2日から11日までの10日間の会期で開かれました。定例会には、平成23年度一般会計、各特別会計予算をはじめ、平成22年度補正予算、条例制定・改正などが提出され、各常任委員会付託も含めて慎重な審議がなされました。

〈一般会計〉

○予算に対する主な質疑

質疑 石川保議員 町民会館自主事業入場料の予算が減になっています。その内容は。

質疑 生涯学習課長 予算が昨年と比較して少ないのは、自主事業の回数が少ないということによるものです。

質疑 石川保議員 道普請について、昨年の半額の予算にした理由は。

建設課長事務取扱 昨年は前年度からの要望で拡幅の予定があり、その委託料、用地買収費、公有財産購入費を計上しました。**質疑** 増測さつき議員 生ごみ堆肥化处理機購入補助金が出てきた背景は。

総務課長 アンケート調査の結果、特に集合住宅の生ごみ回収

が伸び悩んでおり、今回は生ごみ処理機購入といった制度を計上しました。

質疑 増測さつき議員 小学校整備費で新規の芳賀東小の増築実施設計、その内容は。

質疑 必要面積が基準面積より約1,000平方メートルほど不足しているという状況で、教室を増やしたいということで計画。面積については概ね90平方メートル程度を増やしたいと検討しております。

質疑 大島浩議員 将来に向けた芳賀の道の駅をどのような構想で考えているのか。

町長 道の駅と温泉、建物や町道など、幾つかの問題点を検討して改善を図り、一体的なものにしたいと思っています。

質疑 大島浩議員 芳賀バイパスが開通し、茂木の道の駅、新

たに市具にも道の駅ができます。芳賀の道の駅への取りつけ道路、そして、どのようなPRを考えているのか。

町長 今回駅長さんを設置しましたので、とりあえずは案内板程度にしたいと思っています。

質疑 小林隆志議員 光の道事業の中で、一万円の個人負担について、住民からは、広報と同じだから、負担はなしに、全家庭に町が全額負担すべきだという意見もあるが。

町長 一万円の加入金については、このまま続けたいと思っています。

質疑 小林隆志議員 地積調査費のこれからのタイムスケジュール、また、事業について現段階での考えは。

町長 年数計画は何十年かかるか予想がつきません。国・県からも早くやるように指摘をうけ

ており、住民の方また、事務執行上の問題もあり、今回始めようというところです。

質疑 小林信二議員 環の町芳賀推進費、予算が大幅に増えていますか、この内容は。

環境対策課長 これは、環の町芳賀事務費、環の町芳賀支援費、粗大ごみ回収事業費、環境保全事務費の4つの事業を、環の町芳賀推進費として今回統合した結果です。

質疑 小林信二議員 芳賀高跡地整備費ですが、いつ頃やるのですか。

都市計画課長 解体工事の予定ですが、工実施は7月あたり

から、実施したいと考えております。

質疑 小林一男議員 子ども手当給付費で、予算計上を止めている自治体も見受けられるが、今後、全額国庫負担ということ

で国のほうに要望や発言をしていくつもりはあるのですか。

町長 この全額国庫負担については、栃木県町村会、また市町村会、全国町村会等で、強力的に要請をしているところです。

質疑 杉田貞一郎議員 勤労対策費は、県からの緊急雇用創出事業補助金で全額だったと思いますが、基本的に全部委託という

ことで直接雇用とか直接採用



解体が予定されている旧芳賀高校

平成23年度 各会計予算

(単位：千円)

会計別		区分	平成23年度 当初予算額	平成22年度 当初予算額	増 減	増減比
一	般	会 計	7,070,000	7,020,000	50,000	0.7%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		1,887,000	1,845,000	42,000	2.3%
	老 人 保 健		0	2,200	△2,200	皆減
	農 業 集 落 排 水 事 業		177,000	308,000	△131,000	△42.5%
	工 業 団 地 排 水 処 理 セ ン タ ー		60,000	73,000	△13,000	△17.8%
	介 護 保 険	保 険 事 業 勘 定	1,114,000	1,089,000	25,000	2.3%
		サ ー ビ ス 事 業 勘 定	6,000	5,200	800	15.4%
	公 共 下 水 道 事 業		208,000	145,000	63,000	43.4%
	祖 母 井 南 部 土 地 区 画 整 理 事 業		239,000	321,000	△82,000	△25.5%
	宅 地 造 成 事 業		15,000	21,400	△6,400	△29.9%
	後 期 高 齢 者 医 療		118,000	132,700	△14,700	△11.1%
	小 計	3,824,000	3,942,500	△118,500	△3.0%	
	合 計	10,894,000	10,962,500	△68,500	△0.6%	



富士山自然公園の水芭蕉

とかは考えていないのですか。

町長 直接雇用を行えば、もっと雇用の確保になります。事業の専門性もあり、外部発注をしたところです。

質疑 杉田貞一郎議員 社会体
育振興費の全国大会出場交付金
10万円の基準は。

生涯学習課長 交付金の制度は
まだつくっておりませんが、全
国規模の大会に出場するような
選手に出すという考えで、今後
検討したいと思います。

質疑 大根田和子議員 生きが

いサロン事業費が、減っている
のですが内容は。また、運営が
シルバーのボランティアと、健
康福祉課依頼のボランティアに
なっているのはなぜか。

健康福祉課長 事業を分割し生
きがいサロンだけに係る費用を
計上しました。また、運営につ
いては、包括支援センター職員
が17ヶ所全てを管理、監督する
のは大変難しいため、シルバー
に依頼し、シルバーと町の包括
直営で行っております。

質疑 小林俊夫議員 保育園費

民営化に対する負担金だと思
うが、振り分けはどうするのか。
こども育成課長 運営費負担金
は国の基準に基づき計算され、
国2分の1、県4分の1、町4
分の1の負担割合です。

質疑 小林俊夫議員 防災対策
費、5割弱の国庫ですが、防空
壕をつくったのは国、軍なので
それを修復する、現状に復帰さ
せるのは、国庫負担でやられる
べき問題では。

町長 国の施策で行ったものな
ので、国庫が当然だと思ってい
ます。ただ、防空壕があるかど
うかの当時の書類が、なくなっ
てしまったため、証拠がないと
いうことで、補助金をもらうの
に苦労しました。

質疑 岩村治雄議員 富士山自
然公園の湿地改修について、ど
のような形でやるのですか。

都市計画課長 人力により、水
のたまり、池とか水路を再生し
ます。植物や、生息している昆
虫等に配慮しながら、土工事は
2カ年をかけて実施します。

質疑 見目匡議員 老人福祉事
業費の臨時特別交付金。これは
社会福祉法人に地域密着型建設
の交付金として出すと思うので
すが、これは県補助金が全てで

議員会有志による被災地支援

4月21日、宮城県女川町に行ってまいりました。

- 参加議員…12名
- 救援物資…作業着・イチゴなど
- 炊き出し…磯辺餅など

議会議員会より義援金

3月25日、被災地支援のため50,000円を日本赤十字社を通して送りました。



女川町避難所での炊き出し

町からの上乗せは、建設費には全く含まれていないのですか。

健康福祉課長 この交付金は国県を経由して町へ交付され、そのまま事業者へ交付するもので、町の補助金の上乗せはしておりません。

〔質疑〕 見目匡議員 高齢者福祉計画書策定にあたり、高齢者のあり方について、委員会にどのような基本方針を打ち出しているのか。

町長 基本的には前期の高齢者総合福祉計画の中でうたっている方針を踏襲し、その中で改善すべきものについては改善していきます。

〈特別会計〉

□国民健康保険特別会計

〔質疑〕 増淵さつき議員

(討論なし・原案可決)

□農業集落排水事業特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□芳賀工業団地排水処理センター特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□介護保険特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□公共下水道事業特別会計

〔質疑〕 小林信二議員

(討論なし・原案可決)

□祖母井南部土地区画整理事業特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

□宅地造成事業特別会計

〔質疑〕 杉田貞一郎議員

(討論なし・原案可決)

□後期高齢者医療特別会計

(質疑、討論なし・原案可決)

〈条例制定〉

□芳賀町職員の給与の特例に関する条例の制定について

(質疑、討論なし・原案可決)

〈条例改正〉

□芳賀町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

改正について

□芳賀町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

□芳賀町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

□芳賀町職員の給与に関する条例の一部改正について

例の一部改正について

□芳賀町国民健康保険条例の一部改正について

一部改正について

□芳賀町特別会計条例の一部改正について

正について

□芳賀町奨学資金貸与条例の一部改正について

□議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

(質疑、討論なし・原案可決)

□特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する

条例の一部改正について

〔内容〕 体育指導員の報酬を5、

000円引き上げ、年額を2万円とする改正です。

〔質疑〕 杉田貞一郎議員

(討論なし・原案可決)

□芳賀町運動施設の管理に関する条例の一部改正について

〔内容〕 施設の有効利用と利用者

増のため、運動場の午後の使用

料を減額し午前と同額に、ひば

りが丘公園と総合運動公園の夜

間照明の使用料を減額して水橋

運動場と同額にします。

〔質疑〕 杉田貞一郎議員

(討論なし・原案可決)

〈条例廃止〉

□芳賀町老人憩の家設置、管理

及び使用料に関する条例の廃

止について

(質疑、討論なし・原案可決)

〈その他〉

□工事請負契約の変更について

(光の道整備事業建設工事)

(質疑、討論なし・原案可決)

□財産の無償譲渡について

(芳賀町立南高根沢保育園)

〔内容〕 保育園を民営化するため、

引き受け法人が、円滑な保育園

運営を行い、保育サービスの向

上を図られるよう、現在の建物

を引き受け法人に無償譲渡しま

す。なお、譲渡建物は、引き受

け法人が新設保育園を建築した

後、取り壊すものとするもので

す。

〔質疑〕 小林信二議員

篠崎重治議員

(討論なし)

(賛成多数・原案可決)

□財産の無償譲渡について

(芳賀町立水橋保育園)

(質疑、討論なし・原案可決)

〈報告〉

□専決処分報告について

(工事請負契約の変更)

(質疑なし)

〈選任・推薦〉

□芳賀町固定資産評価審査委員

会委員の選任について

□人権擁護委員の候補者の推薦

について

(原案可決)



芳賀町立水橋保育園(民営化に伴い無償譲渡)

意見書提出

□環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加断固阻止に関する意見書の提出について

内容 TPPにより関税の撤廃、貿易の自由化になった場合、深刻な打撃を町に及ぼすことが予想されるため意見書を提出する。

質疑 石川保議員

反対討論 石川保議員

賛成討論 関口一夫議員

小林一男議員

（賛成多数・原案可決）

補正予算

□一般会計補正予算

質疑 増渕さつき議員 健診な

ど委託料が、少なかったという

ことでの辺の説明を願いたい。

健康福祉課長 総合健診の受診

者数と、がんセンター検診の受

診者数が減ったことにより、予

算額が減りました。

質疑 見目 匡議員 町道新設

改良費の減額の理由を聞きたい。

建設課長事務取扱 現在、ある

路線で関係地権者の同意が得ら

れず、年度内完了が不可能と

なったため、減額するものです。

質疑 篠崎重治議員 道普請事

業の公有財産購入費の減額です

が、22年度で購入してある土地

はあるのか。

建設課長事務取扱 前年度申請

のあった幅員2メートル、延長

400メートルを予定しました。

（討論なし・原案可決）

□国民健康保険特別会計

質疑 小林俊夫議員

（討論なし・原案可決）

□老人保健特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□農業集落排水事業特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□芳賀工業団地排水処理セン

ター特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□介護保険特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□公共下水道事業特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□祖母井南部土地区画整理事業

特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

□宅地造成事業特別会計

質疑 杉田貞一郎議員

（討論なし・原案可決）

□後期高齢者医療特別会計

（質疑、討論なし・原案可決）

3月定例会可決（単位：千円）△は減額

平成22年度 補正予算

会計別		区分	補正額	補正後の予算額	補正歳出の主なもの
一		一般会計	△167,869	7,490,911	子ども手当給付費 △42,588 検診等委託料 △15,890 町道新設改良費 △83,300
特別会計	国民健康保険		71,939	1,951,321	保険給付費 42,330 財政調整基金への積立 37,251
	老人保健		3,041	6,101	医療諸費 △1,910 諸支出金 5,112
	農業集落排水事業		△6,779	301,221	施設管理費 △7,200
	工業団地排水処理センター		△3,983	69,017	共同排水事業費 △3,983
	介護保険	保険事業勘定	30,421	1,156,079	介護給付費 12,400 基金積立金 21,675
		サービス事業勘定	2,451	7,651	一般会計繰出し金 2,451
	公共下水道事業		△2,993	168,087	建設費 △2,995
	祖母井南部土地区画整理事業		0	376,000	
	宅地造成事業		△21,297	103	一般会計繰出し金 △21,292
後期高齢者医療		2,802	114,928	繰出し金 2,802	

女性模擬議会

1月26日、第6回芳賀町女性模擬議会が開催され、議長を頭に6人の模擬議員による活発な質疑がなされました。



第6回芳賀町女性模擬議会議員

臨時議会

平成23年第1回議会臨時会

(1月19日招集)

□工事請負契約の変更について

(光の道整備事業建設工事)

〔質疑〕 小林一男議員

増測さつき議員

(討論なし・原案可決)

□指定管理者の指定について

(芳賀町光の道ネットワーク施設)

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

(討論なし・原案可決)

〔質疑〕 増測さつき議員

□平成22年度芳賀町公共下水道

事業特別会計補正予算

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

〔質疑〕 増測さつき議員

臨時議会

平成23年第3回議会臨時会

(4月15日招集)

□専決処分の承認を求めること

について

〔質疑〕 見目 匡議員

正)

(討論なし・原案承認)

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

〔質疑〕 見目 匡議員

□専決処分の承認を求めること

について

(平成22年度芳賀町一般会計補正予算)

〔質疑〕 小林一男議員

正)

〔質疑〕 小林一男議員

(平成22年度芳賀町老人保健特別会計補正予算)

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員

〔質疑〕 小林一男議員



常任委員会予算審査

平成23年度一般会計及び各特別会計は、各常任委員会に付託されました。各常任委員会は、3月7日、8日、9日に町執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。慎重に審査した結果、全予算を原案どおり可決しました。

各常任委員会での意見などは、次のとおりです。

総務常任委員会



光の道サブセンター調査

○対象の課、局

総務課・企画課・税務課・環境対策課・会計課・監査委員事務局

○書類審査 3月7日、9日

○現地調査 3月8日

町有駐車場予定地、光の道サブセンター
特殊地下壕、芳賀高跡地、庁舎施設

審査意見

光の道整備事業において、4月放送開始予定の芳賀チャンネルは、内容の拡充を図り、町民参加型の魅力ある番組構成に努められたい。

今回、下高根沢（別所台）地内にある特殊地下壕安全対策工事が予定されているが、他の地域において同様の危険箇所の把握に努められたい。

教育民生常任委員会



地域密着型介護施設予定地調査(唐桶の溜)

○対象の課、局

健康福祉課・住民課・こども育成課・生涯学習課

○書類審査 3月7日、8日

○現地調査 3月9日

与能テニスコート、第2体育館
地域密着型介護施設予定地（唐桶の溜）
芳賀東小学校（校庭拡張・校舎増改築事業）

審査意見

平成23年4月1日から、南高根沢保育園、水橋保育園が民間移管される。

町は移管先法人に対し、十分な指導監督を行い、より良い保育園になるよう努められたい。

産業建設常任委員会



富士山自然公園調査

○対象の課、局

農政課・商工観光課・建設課・都市計画課

○書類審査 3月7日、9日

○現地調査 3月8日

与能・八ツ木線、芳賀台地（塩田調整池）、加賀地・東線
富士山自然公園、稲毛田地内（パソナ）
温泉施設、公園整備（祖母井）

審査意見

近い将来、主要地方道宇都宮・茂木線バイパスの全線開通に伴い、素通りによる集客の減少が懸念される。

友遊はがと芳賀温泉ロマンの湯を一体とした「道の駅はが」が、魅力ある施設としてより多くの人に利用していただけるよう、早期に施策を講じられたい。

学校教育の充実について

町 大志を持った人間を育てる



見目 匡 議員

大志を持った人間を育てる

問 町長は23年度の方針に、四つの重点施策をあげました。最重要課題は、学校教育の充実との認識から一番目に上げましたが、町長として長期的な町独自の特色ある教育理念は何なのか伺います。

答 町長 長期的な町独自の特色ある教育理念として、すべての子どもが生き生きと学び、自分を成長させ、少しでも人の役に立ちたいという未来を切り拓く大志を持った人間を育てることです。

問 町長方針で学力の向上、心の教育を上げているが、どのようにするのか伺います。

答 町長 現場の声を教育長から聞いて対応し、学習指導助手は、今までより増員します。

問 心の豊かな人間を育てる学校教育はどうするのか伺います。

答 町長 いかに取り組むか難しいが、私から方針を学校に発信していきます。

問 授業時間の増加対応と、学力向上のために、土曜日の授業導入の検討はしないのか伺います。

答 町長 学校週5日制の趣旨を踏まえて、児童生徒への負担、教職員の負担を考慮して、土曜日授業はやりません。芳賀町では、文科省の35週標準時数を上まわる40週あるので充分と考えています。学校を開放し、地域の人材を活用した子どもへの指導なら実施しても良いと考えています。しかし、日

数は月2回を限度とします。

町消防団をどのように考えているのか

問 芳賀町消防団は、町民の生命、財産を守り、重要な可欠な組織です。しかし、社会情勢が大きく変化し、職業の多様化により、団員確保が非常に困難な時代になってきました。芳賀町消防団の運営と団員確保を、町長としてどのようにしていくのか伺います。

報酬、運営補助金でバックアップを

答 町長 町消防団は自治消防として、団長を中心に町

民の生命、財産を守っていただいています。町からは、各部に対し運営補助金や団員報酬を支給しています。

問 団員確保については、今までどおり自治会や部で確保してほしい。今後も安心安全の町づくりにために、消防団は必要な組織なので、更に報酬や運営補助金でバックアップしていきます。

問 昼間の火災対応のため、職員消防隊を組織しています。今後どのように充実させるのか伺います。

答 町長 職員消防隊を組織し3年になります。現在月1回の訓練で向上してきました。古い消防車を活用して、普通の団員と同じように活動できるようにしたいと考えています。

問 通常点検や夏季点検時に、町長、団長連名で団員の職場に文章で出勤依頼書を出せないか伺います。

答 町長 平成23年度から、町長と団長名で出すようになります。



ALT・学習指導助手による英語の授業
(上)小学校 (下)中学校



小林一男 議員

防災無線再整備について

町 光の道整備事業の中で検討

光の道整備事業について

問 4月供用開始を目途に整備が進む光の道整備事業では、多方面への利活用が期待されています。

その一つとして、老朽化した防災無線をどのように再整備していくのか伺います。

答 町長 防災無線の再整備についてですが、現在の防災無線を更新するには、概算で約4億円の事業費となります。

維持管理を考えれば、現在93基の無線子局全体の数を減らし、サイレンのみを流すなど運用について検討する必要があります。現在見直しを含めて再検討しています。

火災などの緊急情報は携帯メールの配信内容を芳賀チャンネルのデータ放送や芳賀チャンネルの画面上にテロップで流すことを検討しています。防災無線の鉄塔については、中継局として再利用が可能という調査結果もあることから、維持していくことで検討しています。

現在は、担当課である総務課企画課において県消防防災課及

び芳賀地区消防本部を交えて光の道整備事業での活用を進めていく中で、今後の整備計画について協議しているところです。

問 現在防災無線のタイマーが故障していますが、その修理は。

答 町長 昭和63年、平成元年に整備されたもので、他町村で不要になったものを再調整して交換修理になります。

町職員給与について

芳賀町は、昨年末に総務省より公表された職員給与水準を示すラスパイルズ指数が102・2で、県内では宇都宮市について2位となっています。

当町の職員給与水準の高い原因と今後について伺います。

答 町長 ラスパイルズ指数は、地方公共団体の一般行政職員の給料額と国の行政職員の適用職俸給表一般行政職の適用職員の俸給月額とを学歴別経験年齢別に区分し、ラスパイルズ方式により国を100として比較したものです。

芳賀町のラスパイルズ指数は、平成19年が99・6、平成20年が101、平成21年が101・3と推移

し、平成22年は102・2で、県内市町との比較では宇都宮市に次いで2番目に高い結果となっています。

このラスパイルズ指数が高い原因としては、平成18年度の給与制度改正時に7級制を導入したこと、さらに職員全体のうち高年齢層の課長及び課長補佐の占める割合が高いことなどがラスパイルズ指数を高くしている主な要因と考えられます。

対策として、既に平成22年1月昇級であった職員について、6カ月間昇級を延伸して支給する対策を講じたところですが、期待した抑制効果は出ませんでした。

そこで、芳賀町職員の給与の特例に関する条例の制定を今議会に上程しましたが、内容は、平成23年4月から平成24年4月までの期間、職員に給与月額を1%減じて支給する予定です。

さらに、ラスパイルズ指数の恒久的な抑制を図れるよう、芳賀町職員の給与に関する条例の一部改正をし、副主幹の職務を廃止することで、5級の副主幹を4級の主任者とするこの改正をします。



防災無線の装置

将来を見据えた公共施設の整備を問う



町 施設の修繕計画などの一本化を

増淵さつき 議員

問

町の公共施設の整備については、通年の維持管理に加え、単年度ではなし得ない将来的な整備計画、修繕計画、更新計画が必要と考えますが、町の現状と財政計画について伺います。

施設の修繕計画、整備計画、更新計画の一本化を

答

町長 施設の長寿命化と維持保全を計画的にするために平成19年に策定した短期改修計画について、内容を随時見直しながら計画に沿った更新を行っています。規模の小さな施設は事務事業評価を活用し、財政計画を伴う中長期的な維持管理計画を立てて管理を行っています。

財政面では、振興計画の事業計画に合わせて財政計画を作成しており、建設事業に充当できる一般財源は、単年度で7億円程度です。税収の状況を考慮しながら建築や修繕を行っています。

平成23年には、町有財産の土地建物について地図、公図との照合や現地確認、台帳・地図管理システムの導入を進めます。公共施設の台帳を整備するこ

**公共施設修繕の
評価基準は？**

問

限られた財源を効率的に運用するためにも、整備の優先順位が重要と考えます。例えば道路整備長期計画においては、評価基準に基づき事業

**事務事業評価の中で
計画を立てて実施**

答

町長 公共施設については、点数化はしていません。担当課から緊急性を要するとして要求があったものから計上しています。事務事業評価を今



地震による被害 芳賀東小学校体育館

被服室天井

行っており、その中で、5年間に改修するものを中長期的に計画を立てて実施しています。

問

新年度予算では、芳賀高解体工事として2億円が計上されました。

施設の維持更新には当然ながら撤去費用も考える必要があります。家計で言えばライフプランのように、10年後、20年後の町が抱える負担として、住民に明らかにしていく必要があると考えますが、町長の考えを伺います。

答

町長 毎年、財政公表、予算の公表等を広報紙やホームページを通して住民に知らせしているところです。さらに住民にわかっていただく方法を考える必要があると思っています。

※このたびの東日本大震災により町の公共施設にも被害が及びました。どれも緊急を要するものばかりです。どの部分を優先するのか、客観的に公正公平な判断基準が求められます。

悪化する交通事故、高齢者の免許証返納は？



大根田和子 議員

町 ひばりタクシーを利用、利用券の発行を検討

問 超高齢化社会を迎えてますます悪化する交通事故、免許証返納に対する町の対応策を伺います。

答 町長 芳賀町での平成22年中における65歳以上の交通事故発生件数は30件、死者1名負傷者20名、高齢者への交通安全教育活動は、平成20年4月から平成23年1月まで48回実施し参加者は1,014人となっている。事故防止のためにも自主的に運転免許証を返納していただくよう、広報紙や老人クラブ、生きがいサロンなどの会合を通じてPRしていきたい。免許証を返納された場合、ひばりタクシーを利用していただくには、利用券の発行を今後検討してまいりたいと思っています。

問 具体的に考えてはいるのか？

答 町長 具体的には考えておりません。芳賀町は、公共交通機関は非常に限られています。ひばりタクシーは有効であると思いますので検討していければと思っています。

問 現状の一乗車あたり300円は高いのではないか。通院とか買い物にもっと利用できるようなならないのか。

答 町長 真岡市、市貝町も実施するということでありますので料金等を広域で考えたら良いのではないかと考えています。

町の施設の中での食中毒対策

問 芳賀町は3保育園、3小学校、1中学校がある。各施設での完全給食を実施している。芳賀町で食中毒が起きた場合の対応と生徒・児童への対策は？

答 教育長 各学校でも対応マニュアルを作成し、万一の場合に備えております。まず未然防止が第一ですので、給食施設及び設備の衛生管理、給食の過程等における衛生管理、給食従事者の衛生管理と健康管理を徹底しております。万一食中毒が発生した場合には、次のような対策をとることになります。教育委員会、学校医、県

東福祉センター等に連絡するとともに、患者の措置に万全を期し2次感染の防止に努めます。学校医、県東健康福祉センターなどに相談の上、医療機関を受診させ、給食の停止、当該児童生徒の出席停止、必要に応じて臨時休業にして、消毒その他の事後措置を行い、食中毒の拡大防止の措置を講じます。保育園にも保育所保育指針に基づき、学校と同様の措置を講じることになっております。



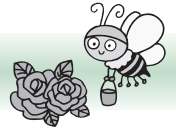
芳賀中学校調理風景①(下のシートにより衛生面に配慮し調理)



中学校調理風景②(調理前に手を消毒)

問 町長にも対応策を伺います。

答 町長 教育委員会所管ですので、教育委員会が衛生について予算を要求するものについては私のほうで予算をつけるということ。健康福祉センターから定期的な指導を受けている。良く注意をして、発生しないよう指導してまいります。



震災に思うこと



小林 芳寿さん
(東水沼)

この原稿を依頼されたのが3月14日、まだ震災の爪跡が生々しく復旧に向けての片付けの真っ最中です。ここで今、感謝していることは、各地域の消防団員の頑張りです。自分の家の片付けもある中、連日地域のために奮闘する姿には、ただただ頭のさがる思いです。町民の一人として、またOBの一人としてお礼を言いたい気持ちでいっぱいです。

こんな消防団ですが、芳賀町も多分に漏れず団員不足に悩まされているのが実

態です。私の住む大字でも、「もう消防団をやってくれる若者がいない」という声をよく聞きます。消防団活動が正しく理解されない面があります。

「不公平感の少ない地域消防団システムをどうするのか」ということは長年の課題であり、それを考え、実践していくことは議員さんの重要な仕事のひとつだと思います。団員がなるべく納得できるシステムを考え、実現してあげてください。

業務委託と公契約条例

現在多くの自治体では、コスト削減やサービス向上の名の下、業務委託や指定管理者制度、PFIの導入が盛んに行われています。

確かに、限られた税収入の中で、少しでもコストを減らす為に、民間委託は一つの選択肢です。行政で行うよりも、より効率的効果的に業務が行える場合もあります。しかし、受託会社が替わっても、同じ人が働いている場合が多くあります。入札で安くなった分、働いている人の賃金を減らして再雇

用を行う、という形が多いからです。これでは、そこで働く人の士気は上がりず、結果、サービスの低下を招く事も考えられます。学校給食や、海洋センター等、子ども達の健康や安全に関わる業務も、委託や指定管理者制度に変更されて来ています。安心・安全の確保の為に、関係者、利用者を含めた十分な議論をお願いします。またそこで働く人の生活を保障する上で、千葉県野田市等で導入した、公契約条例の研究・制定も必要と考えます。



稲川 浩司さん
(下延生)

町民に対する思いやりに感謝



荷見 孝之さん
(芳志戸)

私は現在宇都宮の病院へ通院しています。今回の東日本大震災直後、病院の待合室で、近くの市民の方より地震後の芳賀町の対応について、迅速に避難場所、炊き出し、がれき置き場の設置場所の呼びかけなど「町民に対する思いやりに感動した」とほめられました。そしてその方は孫達に「結婚するなら芳賀町の方、家を建てるなら芳賀町がいい」と、久しぶりに心の晴れる思いがしました。

私の家も地域も、今回の地震は大きな被

害をもたらしました。震災直後、すぐに町の職員の方が被害の状況調査に駆けつけてくれた時には心強く思い感謝しました。そして今なお余震などの不安はありますが、今自分達が出来ることを考え、前向きに過ごしています。

日頃から、地域の発展のためにいつも耳を傾けてくれる議員の方々に、今後も若い人達、我々高齢者にも明るく元気に安心安全に、生活できる芳賀町の魅力をどんどん発信していただきたいと思います。

議会日誌

平成23年

1月

- 5日 ・芳賀町賀詞懇談会
- 9日 ・芳賀町成人式
- 12日 ・芳工連賀詞交歓会
- 13日 ・芳賀北部4町広域協議会研修会
～14日（茨城県）
- 19日 ・第1回芳賀町議会臨時会
- 25日 ・広報常任委員会
- 26日 ・第6回芳賀町女性模擬議会
- 27日 ・石川県中能登町議会行政視察

2月

- 4日 ・芳賀中部上水道企業団運営協議会
- 18日 ・県議長会定期総会・研修会（宇都宮）
- 20日 ・祖母井地区防災訓練
- 22日 ・芳賀町国保運営協議会
- 23日 ・議会運営委員会
・議員全員協議会
- 26日 ・芳賀中部環境衛生事務組協議会
定例会（益子）
・芳賀中部上水道企業団議会定例会
- 25日 ・芳賀町消防委員会委員研修会
～26日（那須）

3月

- 1日 ・芳賀地区広域行政事務組協議会定例会（真岡）
- 2日 ・第2回芳賀町議会定例会～11日
- 10日 ・芳賀中学校卒業式
- 11日 ・議員全員協議会
・広報常任委員会
・議員会役員会
- 18日 ・町内各小学校卒業式
・議員全員協議会

行政視察

石川県中能登町が来町

芳賀町は、9校あった小学校を平成9年度から18年度まで3校に統廃合しました。その廃校を活用したものが、文部科学省の廃校リニューアル50選に入っており、その実態を調査研修するため行政視察に来町されました。

主な内容

廃校舎の活用について

- ・ 廃校から再利用までの経緯
- ・ 現在の利用状況について
- ・ 現地調査
シルバー人材センター・第二けやき作業所



（第二けやき作業所を調査）

〈次回の定例会開催予定日は6月13日予定です。〉

みんなで議会を傍聴しましょう

編集室

3月11日に起きた東日本大震災で、被災されました皆様によりお見舞い申し上げます。

今までに経験したことの無い大災害で、水や電気などのライフラインの有り難さをはじめ、人と人との絆など多くの事を学びました。栃木県内でも災害が大きかった芳賀町が、一日でも早く震災前の活力に満ちた町へと復興することにより、栃木県や日本が元気になる源になれるよう、町執行部と改選で新しくなった議員も一丸となって、町民の皆様と心をつながんばって行きたいと思えます。

今後は、この経験を生かし、明るい未来に向かって、人と人とのコミュニケーションを大切に、災害に強いまちづくりを目指し議会内議論を活発に行いたいと思えます。

町民の皆様が一日でも早く前の生活に戻れますことを心よりご祈念いたします。

（議会広報常任委員会

委員 杉田貞一郎記）